

走れVictoria

これはネツ国の宝物庫から発見された書物であり、ネツの英雄Victoriaの活躍が記されている、著作権フリーの作品なのでここに一部中略した本文を引用する。

Victoriaは激怒した。

必ず、かの邪知暴虐のガイドWIKIを除かねばならぬと決意した。

Victoriaには自演はわからぬ。Victoriaは、寡黙な火皿である。

アイスジャペリンを使い、ヘルを撃って戦ってきた。

けれども風評には人一倍敏感であった。

きょう未明Victoriaは首都ペインワットを出発し、野を越え山越え十里離れたこのドラングラ荒地にやってきた。

Victoriaには父も、母もない。夫も無い。本国の、多くのファン達に囲まれ、一人暮らしだ。

このファン達は、或る上質な記事を近々、書き足すことになっていた。

それゆえ、ふさわしい戦歴やら火皿のP Sやらを見せつけに、はるばるドラングラ荒地にやってきたのだ。

まずはヘルのP wをかき集め、それからドラングラの中央をぶらぶらと歩いた。

歩いているうちにVictoriaは戦場の様子を怪しく思った。ひっそりしている。

夜のせいばかりではなく、ドラングラ荒地全体が、戦場の気配がしない、だんだん不安になってきた。

しばらく歩いてNighborhoodの部隊員にあい、語勢を強くして質問した。

「我々は、WIKIで晒されてます。」

「なぜ晒されるのだ。」

「あなたが自演をしている、というのですが、誰もそんな、あなたに自演などさせて居りませぬ。」

「たくさんの自演容疑をかけられたのか。」

「はい、はじめはPスキルを。それから、厨房度を。それから、またPスキルを。

それから、Pスキルを。それから、Pスキルを。今日はページを凍結されかけました。」

聞いて、Victoriaは激怒した。

「呆れたWIKIだ。生かして置けぬ。」

Victoriaは戦争好きな人物であった。初心者も、背負ったままで、のそのそネヲチ本スレに書き込んで行った。

たちまち彼女は、巡邏のネヲチ民に自演認定された。

調べられて、Victoriaの懐中からはWIKIを編集する為のアカウントが出て来たので、騒ぎが大きくなってしまった。

Victoriaは、ネヲチ民にヲチされた。

「このアカウントで何をするつもりであったか。言え！」

「WIKIを粘着の手から救うのだ。」とVictoriaは悪びれずに答えた。

「おまえがか？」ネヲチ民は、憫笑した。

「仕方の無いやつじゃ。おまえには、わしの妬みがわからぬ。」

「WIKIで晒すのは、もっとも恥ずべき悪徳だ。ネヲチ民は、人の自演さえ疑っておられる。」

「疑うのが、正当の心構えなのだ。わしに教えてくれたのは、お前のページだ。あの発言は当てにならない。

人はもともと私欲の塊さ。信じては、ならぬ。」

ネヲチ民は落ち着いてつぶやき、ほっとため息ついた。

「わしだって正しい評価を望んでいるんのだが。」

「何のための評価だ。人を貶めて満足するためか。」今度はVictoriaが嘲笑した。

「黙れnoob。」ネヲチ民はさっと顔を上げて報いた。

「素面ではどんな清らかなことを言える。

お前だって、今に、WIKIの自演がばれてから、泣いてわびたって聞かぬぞ。」

「ああ、ネヲチ民は利口だ。私はちゃんと評価を受ける覚悟で居るのに、評価を上げてくれとは絶対に言わない。

ただ、私に情けをかけるつもりなら、評価までに3日間の日限を与えてください。

ネツにいる大勢のファンに、説得をしてやりたいのです。

私を信じられないのならば、よろしい、WIKIに私の項目があります。唯一無二の私のページだ。

私が逃げてしまって、3日目の日暮れまでに戻ってこなかったら、Pスキルの項目を 1にしてください。」

「願いを、聞いた。そのページを教えるがよい、三日目には日没までに帰って来い、遅れたら、Pスキルの項目を、きっと 1にするぞ。ちょっと遅れてくるがいい、お前の自演は、永遠に見逃してやるぞ。」

「なに、何をおっしゃる」

「はは、自演バレしたくなかったら、遅れてこい。お前の心は、わかっているぞ。」

ガイドWIKI、Victoriaのページは深夜、ネヲチ民に注目された。VictoriaはWIKIに書き込みを行った。

WIKIは無言で更新された。

Victoriaはすぐに出発した。初夏、満天の星である。

Victoriaはその夜、一度も戦争せず十里の道を急ぎに急いで、首都へ到着したのは、あくる日の午前だった。

取り巻いてくるファンは、よるめいて歩いてくるVictoriaの、覇気のない姿を見て驚いた。

そうしてうるさくVictoriaに質問を浴びせた。

「なんでもない、ネヲチ本スレに用事を残してきた。またすぐ書き込みに行かなければならぬ。

明日、戦場に来てくれ。早いほうがよかろう」

Victoriaは、またよろよろと歩き出し、クノラへ行って戦争し、間もなく床に倒れ伏し5デッドもらってしまった。

ファン達は、昼間にドラゴンゴラへ来た。

ファン達に説教したところ、エルから宣戦布告され、やがて戦争が始まった。

何か不吉なものを感じたが、それでもヘルを重ねるうちにVictoriaは、

満面に喜色をたたえ、しばらくは、ネヲチ民とのあの約束をさえ忘れていた。

ゲージが空になったのは明るく日の薄明かりの頃である。

Victoriaは跳ね起き、南無三、撃ちすぎたか、いやまだまだ大丈夫、これから出発すれば、約束の刻限までには十分間にあう。

今日は是非とも、ネヲチ民達に、自演でないを見せてやろう。

そうして笑って戦争してやる。身支度はできた。

さて、Victoriaは、ぶるんと両腕を大きく振って、雨中、矢の如く走り出た。

私は今夜、評価を受ける。真っ当な評価を受けるために走るのだ。私の評価を救うために走るのだ。

ネヲチ民の奸佞邪智を打ち破る為に走るのだ。走らなければならぬ。そうして、私は評価を受ける。

さらばファンよ。

Victoriaは、つらかった。幾度か、WIKIを更新しそうになった。

えい、えいと大声挙げて自身を叱りながら走った。

首都を出て、野を横切り、森をくぐり抜け、ログアウトした頃には、

雨も止み日は高く昇って、そろそろハイリジェが抜けてきた。

折から午後の灼熱の太陽がまともに、かっと照って来て、

Victoriaは幾度となく眩暈を感じ、これではならぬ、と気を取り直しては、

よろよろ二、三步あるいて、ついに、がくりと膝を折った。

立ち上る事が出来ぬのだ。天を仰いで、くやし泣きに泣き出した。

今、ここで、評価されずにいらいらすとは情無い。

Victoriaのファンは、おまえを信じたばかりに、お前の項目を 1されなければならぬ。

おまえは、稀代の自演の神、まさしくネヲチ民の思う壺だぞ、と自分を叱ってみるのだが、

全身萎えて、もはやファイアすらかなわぬ。路傍の草原にごろりと寝ころがった

ファンよ許してくれ。私は、いつでも君達に任せた。君はいつでも更新が多かった。

本当に佳いファンであったのだ。いちどだって、君達の更新を、不満に思ったことは無かった。

ネヲチ民は私に、ちょっとおくれて来い、と耳打ちした。おくれたら、私の項目を 1にして、

私の自演を見逃すと約束した。私はネヲチ民の卑劣を憎んだ。

けれども、今になってみると、私はネヲチ民の言うままになっている。

WIKIだの、スレだの、信者だの、戦歴だの、考えてみれば、くだらない。

戦争で一般人の羨望を受ける。それが私の常道ではなかったか。

ああ、何もかも、ばかばかしい。私は、醜い自演王だ。
キャラダリートでも、勝手にするがよい、やんぬる哉。
四肢を投げ出して、うとうと、まどろんでしまった。

(中略)

私は、信頼に報いなければならぬ。いまはただその一事だ。走れ！ Victria。

(中略)

「ありがとう、ファンよ。」 Victriaは言い、ひしと抱き合い、それから嬉し泣きにおいおい声を放って泣いた。
群衆の中からも、乾杯の声が聞えた。

ネヲチ民は、群衆の背後からVictriaの様を、まじまじと見つめていたが、
やがて静かに二人に近づき、顔をあからめて、こう言った。

「おまえらの望みは叶ったぞ。おまえらは、わしの心に勝ったのだ。
他人のWIKI更新とは、決して空虚な妄想ではなかった。
どうか、わしをも仲間に入れてくれまいか。おまえらの仲間の一人にしてほしい。」
どっと群衆の間に、歓声が上がった。

「万歳、ガイドWIKI万歳。」

一人のネヲチ民が、よく評価されたページをVictriaに捧げた。

Victriaは、まごついた。一人のネヲチ民は、気をきかせて教えてやった。

「Victria、君は、自分のページを更新したいみたいじゃないか。早くそのページを更新するがいい。
このVictriaのファン達は、Victriaの更新を、皆に自演と見られるのが、たまらなく口惜しいのだ。」
Victriaは、ひどく赤面した。

- ▶ クソワロタwwwwwwwwww乙wwwwwwww -- 名無しさん (2008-01-25 17:57:30)
- ▶ うめえwwwwwwワロタじゃねーかwwwwwwww -- 名無しさん (2008-01-26 01:49:19)
- ▶ なんだこのFEZ版プロントさんはwwwwww -- 名無しさん (2008-01-29 01:38:18)
- ▶ 走れメロスか -- 名無しさん (2008-03-25 02:25:52)
- ▶ おまえ消される(ry -- 名無しさん (2008-04-02 05:40:47)
- ▶ うめえwwwしかしなげえww -- 名無しさん (2008-05-26 10:19:53)
- ▶ うますぐるww -- 名無しさん (2008-07-19 18:40:54)
- ▶ 最高ダYO ~ -- ダンサー (2008-07-31 20:54:22)
- ▶ これは感動したwwGJwww -- 名無しさん (2008-08-11 12:15:24)
- ▶ 腹筋割れたww -- 名無しさん (2008-08-20 16:21:17)
- ▶ マジで神すぐるwww -- F鯖の子 (2009-06-25 23:10:14)

名前:	<input type="text"/>
コメント:	<input type="text"/>

投稿